

## 平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の整備に関する検討委員会（第2回）

### 議事概要

日 時：平成30年8月7日（金） 14:00～16:15

場 所：奈良県文化会館 第2会議室

出席者：朝廣 佳子氏、今仲 進氏、魚島 純一氏、内田 和伸氏、北口 照美氏、  
来村 多加史氏、寺崎 保広氏、中井 將胤氏、中村 孝氏、増井 正哉委員長

概 要：多くの利害関係者がおられることにより、委員の率直な発言に支障が生じる恐れがあるため、平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の整備に関する検討委員会運営要領第4条に基づき、非公開で開催。

県より、別紙資料により検討状況を説明。

歴史体験学習館の機能及び施設について意見交換。委員からの主な発言は以下の通り。

○県より、別紙資料により検討状況を説明。

○主な意見の概要

①歴史体験学習館の機能について

項 目	内 容
地域	1. 土地の場所(平城宮・平城京)にこだわった検討が必要。 2. <u>コンセプト</u> ※(奈良県全体)にこだわった検討が必要。 ※奈良県全体にかかる歴史・文化情報の発信や交流の会場となる施設
機能	1. 体験に重きを置くのが良い。 2. 平城京と正倉院宝物との関係は取り上げた方が良い。 3. 国際交流の観点から正倉院宝物につなげるのが良い。 4. 当時の生活や暮らしの観点から正倉院宝物につなげるのが良い。
ターゲット	1. 子供を中心とするのが良い。(リピーターとしての期待) 2. インバウンドを中心とするのが良い。(情報発信としての期待) 3. 全ての年齢層を対象とするのが良い。
展示手法	1. 将来の技術を見込んだ映像展示について、技術的なバックグラウンドを知るところまで踏み込んだ検討が必要。 2. 正倉院宝物(模造品)の継続的展示の実現可能性(施設整備、維持費用、運用等)を視野に入れた検討が必要。 3. 地域と連携したイベント等について、十分にアイデアを出せるよう検討が必要。

②歴史体験学習館の施設について

項 目	内 容
施設	1. 大宮通り沿いの建物として景観形成の規範になるものが望ましい。 2. ランドマーク的な外観とするのが良いのかどうか検討が必要。 3. 朱雀門ひろばで統一性を持たせる場合、既存施設の建築意匠をベースにした方が良い。